

2024年度絵画科油画専攻学部入学試験 出題意図

■一次試験

出題「目の前の石膏像をデッサンしなさい」

モチーフになった石膏像は円盤投げ、アムールの半身像である。各石膏像が低い台の上に一体設置され、自然光の中で試験を行なった。

目の前の石膏像に対し、自身のものの見方としての観察力・基本的な描写力・素描に対しての姿勢を問うた。

■二次試験

出題「目の前のモデルをスケッチし、キャンバスに油絵具で描きなさい」

二次試験の絵画では、P20号のキャンバスと、人物のスケッチまたは構想のためにスケッチブックを使用した。人物の服装は、上半身無地の白色で統一された女性モデルで、ポーズはオリジナルの台に座り、自然光の中で試験をおこなった。また、絵画材料は油絵具に統一した。

人物を通し、考察力・発想力・表現力を問うた。

■二次試験 | 面接試験

二次試験は初日、二日目が実技試験、三日目が面接試験とした。二次試験で提出された絵画を伴って面接をおこなった。

「この油彩を制作するときに、大切にしたこと or こだわった点はどんなことですか？」を共通質問とし、制作の意図や観点を具体的に言語化し得るかを問うた。

また、自身の意欲や目的に対して自覚的であるかを問う追加の質問をした。